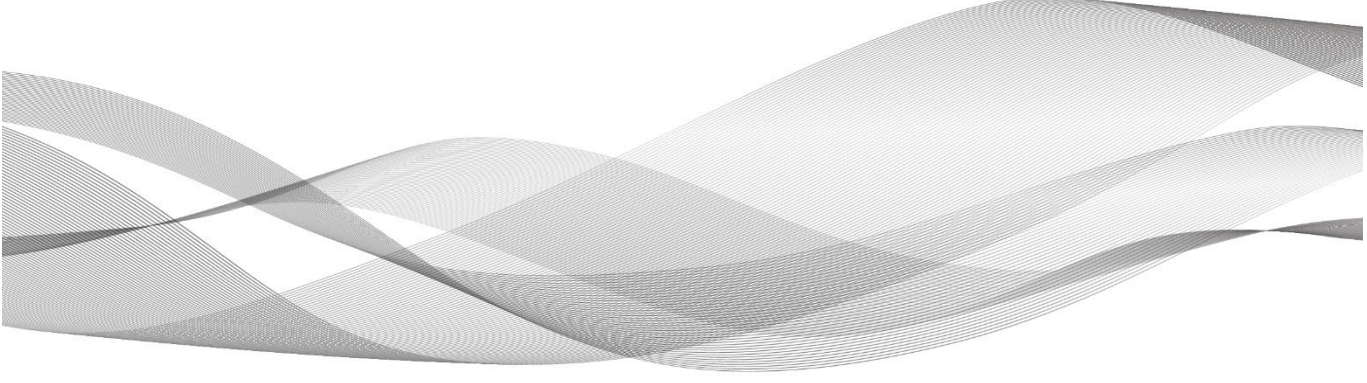




京都橘大学

公募推薦早期対策講座

国 語

講師 岩野 圭晃

代々ゼミナル

SAPIX YOZEMI GROUP



2026年度 京都橘大学 公募推薦早期対策講座 国語

【出題傾向の分析】 知識・読解問題ともに極端な難問はなく、基本から標準レベルの問題が中心！

2025年度 公募推薦基礎テスト 11月14日実施分より

試験時間	2科目 80分
解答方式	マーク式（27問）
出題範囲	現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）
出題構成	Ⅰ 現代文 Ⅱ 文学史 Ⅲ 漢字 Ⅳ 国語常識（計100点）
Ⅰ 現代文	接続語補充（4） 語句補充（4） 省略文挿入（1） 語句説明（1） 内容合致（2）
Ⅱ 文学史	近現代文学史（5）
Ⅲ 漢字	同音異字など（5）
Ⅳ 国語常識	慣用表現など（5） 2023年度 四字熟語
	15問
	12問

- 1 文章を読み解く力が問われている。 ↓ 文脈を丁寧に追いましょう！
- 2 Ⅱ・Ⅲ・Ⅳで総数の半分を占める。 ↓ 知識の定着を図りましょう！

【出題内容の分析】

公募推薦基礎テストは、「知識定着率」と「読解力」の二点をはかる問題構成になっている。現代文は、日本の社会や文化、あるいは西洋・現代思想に関する内容が多い。

【対策】 国語に関する総合的な知識と正確な読解力が必要！

- 1 漢字問題集、近現代文学史（問題集）をそれぞれ1冊仕上げて、漢字や表現、近現代文学史の幅広い知識を身につける。
- 2 教科書や入試現代文、新聞の社説などを読んで、日本社会の問題を知る。
- 3 物語ではなく、評論のような論理的な文章を読んで、指示語の指示内容を正確にとらえる、また接続語の使い方習得する。
- 4 問題数をこなすことで、実戦力の向上と読解のスピードアップを目指す。

【読解力について】

読解とは、言葉が指し示す**意味の範囲を正しくつかむ**ことである。意味の範囲を決定するうえでもっとも重要なのは、**言葉と言葉、文と文を正しくつなぐ**ことである。

【問題別解法】 2025年度 公募推薦基礎テスト 11月14日実施分より

① 接続語補充 (I 問1 あ)

スピノザには、自らが受け取ったいかなる知識をも批判的に検討し、そこに矛盾を見出すやその矛盾を手がかりにして整合的な解釈や考え方を作出すことのできる知性が備わっていた。……。スピノザは幼い頃から聖書についての徹底した教育を受けたが、その教えに対して距離を取り、それを批判的に検討することができた。□、その中にある矛盾を手がかりにして、整合的な解釈や自らの考え方を組み立てることができた。

【答】 ③ また ▼ 「形式関係」と「内容関係」の二点で解く。

【解法のポイント】 呼応の関係で解くか、形式の関係で解くか、内容の関係で解くか。

② 語句補充 (I 問2 A)

人はある思想に出会った時、その由来を求めずにはいられない。……。だが真の哲学者の思想というのはどこかに□できるものではない。

【答】 ① 還元 ▼ 「形式関係」と「内容関係」の二点で解く。

【解法のポイント】 形式の関係で解くか、内容の関係で解くか。

③ 省略文挿入 (I 問3)

〈省略文〉 そしてもちろん、聖書を読んでいた時のように、そ（＝デカルト哲学）の中に矛盾や不徹底を見出していったのである。

〈本文〉 ……スピノザは、この最新の、そして近代哲学そのものを開くこととなった哲学（＝デカルト哲学）を徹底して読んだに違いない。（②）

〔答〕 ②

【解法のポイント】 (1)省略されている文を要素に分けて、(2)キーワードを見つける。(3)本文の内容と照合する。

④ 語句説明 (I 問4)

〈設問〉 「デカルトの『コギト命題』をスピノザはどのように批判しているか」を説明する。

〈本文〉 ……。スピノザはつまり、コギト命題は実際には、「考えるためには存在しなければならない」（大前提）、「ところで私は考えている」（小前提）、「故に私は存在している」（結論）という三段論法であるのに、最初の大前提が省略されているのではないかと指摘しているのである。

〔答〕 ④ 「私は考える、故に私は存在する」という命題は、「考えるためには存在しなければならない」という前提の上に成立しているが、デカルトはこの前提（＝最初の大前提）を省略しているという批判。

【解法のポイント】 (1)説明すべき言葉をつかみ、(2)文脈をたどる。(3)答えになる選択肢は表現を変えてくる（ことが多い）。

⑤ 内容合致 (I 問5 選択肢④)

〈選択肢〉 スピノザの知性とは自らが受け取った知識を批判的に検討し、そこに矛盾を見出し、その矛盾を手がかりとして整合的な考え方を作り出すところにあった。

〈本文〉 スピノザには、自らが受け取ったいかなる知識をも批判的に検討し、そこに矛盾を見出すやその矛盾を手がかりにして整合的な解釈や考え方を作り出すことのできる知性が備わっていた。

〔答〕 ○（本文の内容に合うもの）

【解法のポイント】 (1)選択肢の文を要素に分けて、(2)本文の内容と照合する。(3)答えになる選択肢は表現を変えてくる（ことが多い）。

⑥ 近現代文学史(Ⅱ 1)

□の小説を翻訳した『あひゞき』の訳者は二葉亭四迷である。

答 ① ツルゲーネフ

【解法のポイント】内容について知識で解く。

⑦ 漢字(Ⅲ 1)

顧客にあわせてお得なプランをテ|イ|ジする。提|示

答 ② カバンを肩からサ|げる。提|げる

【解法のポイント】内容について知識で解く。

⑧ 慣用表現(Ⅳ 1)

息子には、何事も金で解決するような □ 人には、ならないでほしい。

答 ③ 腸はらわたが腐った

【解法のポイント】内容について知識で解く。

受験は、自己表現の舞台である

ファイト！受験生

SAPIX YOZEMI GROUP